

今月の担当：クワチ・デイビッド

(ALTの原文を掲載しています)



英会話教室

《弓削》	毎週月曜日	19:30 ~	弓削地域交流センター
《生名》	毎週月曜日	9:00 ~	生名公民館
《岩城》	毎週木曜日	20:00 ~	岩城総合支所庁舎
《魚島》	毎週水曜日	19:30 ~	魚島開発総合センター

Greetings, Kamijima! David, here!

It felt as though winter went on for a long time this year, didn't it? However, despite the cold, I was still able to enjoy myself and experience many new things with my friends. That is why for this month's issue I would like to write about my snowboarding experience and how I felt both excitement and fear.

Up until this point, I was the only person in my group of friends who has yet to do snowboarding. They would constantly say how fun and cool it was, and that I must try it someday. So you can only imagine how happy I was when the call to go snowboarding suddenly came from a close friend of mine. I was meant to return to Yuge the day after ice skating in Matsuyama, but the opportunity was too great to miss. So early the next morning we headed towards Mt. Ishizuchi, took the ropeway and hired the entire snowboarding gear set. I felt so cool holding the snowboard for the first time but at the same time I was worried. For those who haven't been snowboarding on Mt. Ishizuchi, there are three types of courses. As a complete beginner, I attempted the beginner's course and thanks to my friend, I was snowboarding in no time at all. After about an hour, my friend suggested we try the intermediate course.

When you take the ropeway up, you arrive at the halfway point and at first glance it looked very steep but it was no problem for us. However, snowboarding from the very top was a different story. The sudden drop completely caught me off guard and I tumbled and rolled a few meters. The shock was so great that I couldn't move and because I hit my chest with my elbow, I had trouble breathing for a few minutes. After recovering, I decided to reattempt the course, but as the steep slope approached, I would suddenly panic and then come to a complete stop. I couldn't help thinking that if I fell again, I would dislocate something, break a bone, or even worst, die. Pathetic, isn't it? At that point, my friend suggested that we go back to the beginner's course to do more practice. Even though I was reluctant at first, in the end I was glad that we went back. My friend figured out how to do jumps while I figured out how to make 360° turns just before heading home. I will challenge the intermediate course some other day!

Although the week after I felt extreme body ache, I was grateful for this opportunity. It reminded me that understanding the basics is very important and that there is always something to be learnt. For those who haven't tried snowboarding, I definitely recommend giving it a try or if this isn't for you, then to try something else new. Let's both do our best and give everything a try!

皆さん、こんにちは。デイビッドです。

今年の冬は長いようでした。しかし、寒い日にもかかわらず、いろいろ楽しんだり、友達と新しいことを体験したりすることができました。ですから、今度書かせていただくのは初めて体験してきたスノボで恐怖と興奮をさせられた経験についてです。

今まで、友達の中でスノボをしたことがないのは僕一人だけでした。「すごく楽しいよ。気持ちいいよ。いつかやらなきゃ」とよく言われていましたが、残念ながら、する機会は全くありませんでした。ある日、友達から「石鎚山でスノボしよう」という電話が突然かかってきました。どれほどうれしかったか皆さん想像できますか。その日に松山でアイススケートをして、弓削に戻ろうとしたところでしたが、せっかくのチャンスなので、家に帰らずにしに行くことにしました。

ということで、朝早く出発していきました。何も用意していない僕たちはロープウェイに乗り、フルセットをレンタルしました。スノーボードを持った瞬間に「かっこいいな」と思っていたけど、その反面不安だらけでした。石鎚山でスノボを体験したことのない方がいらっしゃるかもしれませんが、あそこには3つのコースがあります。僕は初心者なので、初級コースに行きましたが、友達の指導のおかげで数分後にスムーズに滑るようになりました。そして、一時間後友達の提案で中級コースをチャレンジしに行きました。

初級コースからリフトで行くと、中級コースの途中に着きます。見た目では急に見えただけ、僕たちにとっては余裕でした。しかし、問題はこれからです。中級コースの天辺から滑り降りるのは別の話でした。突然急になるから、油断していた僕はこけてしまい、数メートルゴロゴロしました。大ショックで、胸にひじが当たり、息苦しく、すぐ立ち上がれませんでした。数分後復活して、もう一度挑戦しに行きましたが、あの急なところが迫ってきたら、大パニックになり、ついに止めてしまいます。またこけたら、骨折したり、ずれたり、最悪の場合には死んだりしてしまえばどうしようと思ってしまうほどでした。情けなかったですね。それを見た友達が、初級コースに戻ろうと声をかけてくれました。最初は嫌でしたが、帰るまでに友達はジャンプ、僕は360度ターンができるようになったから、満足でした。中級コースを必ずまた挑戦します。

次の週は筋肉痛が激しかったのですが、この機会を通じ、基本理解の大切さと、『学ぶことは無限大』ということを感じることができてよかったです。なので、スノボではなくてもいいですので、皆さんも様々なことをどんどん挑戦してみてください。僕もこれからいろいろ挑戦していきますので、一緒にがんばりましょう。

ALTコーナー英文音声ファイルURL

<https://soundcloud.com/kouhou-kamijima>



こんにちは
町長です



自転車シーズンの到来。風を切る心地良さが最高の季節になりました。私も三月末以降、運動をジョギング中心からサイクリングに切り替えましたが、本格的な自転車始動日はきつく感じました。普段の三分の一の距離に抑えようと思っていたのですが、朝日に光る「生名橋」があまりにも美しく、あの暖かさの中に包まれたいとの思いから、いつもの三十キロを走ってしまいました。

運動は、日常より大きな負荷がかかるけれど、良いことがたくさんあります。例えば、無心になれること。達成後の爽快感。深く考え込んでいたことも問題ではなくなること。そして何よりも健康になれることです。もし、思い悩むことがあれば、室内で考え込むより外に出て、瀬戸内海の美味しい空気を吸いましょう。もちろん散歩で十分です。

特にサイクリングは爽快であり、上島町は最高の条件に恵まれています。町内で七十五歳から始めた方もおり、ヨーロッパでは高齢者がお洒落に自転車を乗りこなしています。

上島町は、交通安全に力を注いでおり、ヘルメット着用率100%を目指しています。松山の自動車飲酒運転による事故で二十日間も意識不明であった自転車の女子高生が奇跡的に回復されたのも、ヘルメットを着用していたお陰です。

町民のみなさん、安全で楽しく、サイクリングや運動に参加してみてください。

上島町長 上村俊之

上島町 5月 行事カレンダー

1日(日)	
2日(月)	潮湯休館日
3日(火)	憲法記念日 スポレク体育館・岩城郷土館休館日
4日(水)	みどりの日・岩城郷土館休館日
5日(木)	こどもの日・岩城郷土館休館日
6日(金)	
7日(土)	
8日(日)	潮湯母の日イベント（女性無料）
9日(月)	潮湯休館日
10日(火)	スポレク体育館・岩城郷土館休館日
11日(水)	行政相談（せとうち交流館9:00～12:00） 潮湯水中歩行講座（10:45～11:30）
12日(木)	
13日(金)	
14日(土)	いきいきウォーキング
15日(日)	
16日(月)	潮湯休館日
17日(火)	スポレク体育館・岩城郷土館休館日
18日(水)	行政相談（生名公民館10:00～12:00） 潮湯水中歩行講座（10:45～11:30）
19日(木)	
20日(金)	潮湯水中歩行講座（10:45～11:30）
21日(土)	
22日(日)	弓削地区地域ふれあい学習会（弓削体育館9:30～）
23日(月)	潮湯休館日
24日(火)	スポレク体育館・岩城郷土館休館日
25日(水)	潮湯水中歩行講座（10:45～11:30）
26日(木)	
27日(金)	
28日(土)	
29日(日)	上島町総合防災訓練
30日(月)	潮湯休館日
31日(火)	スポレク体育館・岩城郷土館休館日

【寄 附（敬称略）】 3月22日までの受付

次の方に寄附をいただきました。紙上より厚くお礼申し上げます。

○木原 健一	10万円	老人福祉のために
○村上 潮美	金一封	老人福祉のために
○越智 健市	掃除機2台	海光園のために
○生方 文	5千円	ふるさと納税

軽自動車税の納期限 5月31日(火)

B型肝炎訴訟 今治市説明会 **問** 全国B型肝炎訴訟広島弁護団事務局 **TEL** 082-223-6589

日時：5月21日(土) 午後1時30分～1時間程度

場所：今治地域地場産業振興センター

内容：集団予防接種の際の注射器回し打ちによるB型肝炎ウイルス感染被害について、国からの救済を受けるための手続き

※事前予約、参加費用不要

戸籍だより

※戸籍だよりは、上島町各総合支所窓口へ届け出にいられた方で、掲載の了解をいただいた方のみを掲載しています。掲載をご希望の方は、上島町各総合支所住民課へご連絡ください。

■弓削総合支所	住民課	TEL 0897-77-2503
■生名総合支所	住民課	TEL 0897-76-3000
■岩城総合支所	住民課	TEL 0897-75-2500
■魚島総合支所	住民課	TEL 0897-78-0011

婚姻 いつまでもお幸せに

かわい しょうた (広島県) ♥	かねもと かおり (弓削)
河相 翔太 (弓削) ♥	金本 花織 (弓削)
しまたに はじめ (弓削) ♥	岩本 菜美 (弓削)
嶋谷 元 (弓削) ♥	池田 恵美子 (弓削)
まえだ よしかず (弓削) ♥	ふじた まい (弓削)
前田 祥和 (弓削) ♥	藤田 舞 (弓削)
てらさき たかまさ (広島県) ♥	さわやま えい (岩城) ♥
寺崎 隆匡 (岩城) ♥	加納 瞳 (岩城)
さわやま えい (岩城) ♥	はしもと てつしゅう (生名) ♥
澤山 英太郎 (生名) ♥	みむら まなみ (広島県)
橋本 哲秀 (生名) ♥	三村 真奈美 (広島県)

出生 おめでとうございます

たなか りと (昇太・愛香 (岩城))
しげた みつき (圭・有加利 (岩城))
おおたに める (卓也・香織 (岩城))
大谷 芽瑠 (卓也・香織 (岩城))

死亡 ご冥福をお祈りいたします

なかがわ みよこ (中川ミヨ子) 2月4日 94歳 (生名)
おち しずえ (越智 静枝) 3月1日 85歳 (弓削)
ももぎ ゆきやす (百崎 幸安) 3月5日 90歳 (生名)
むらかみ ぎんじ (村上 銀治) 3月6日 68歳 (生名)
はまた ふくみ (濱田 福美) 3月13日 77歳 (弓削)
むらかみ まさお (村上真喜男) 3月18日 90歳 (生名)
しみず さよこ (清水小夜子) 3月18日 78歳 (生名)
もうり より (毛利 頼宜) 3月24日 81歳 (弓削)
くろはら 治子 (黒田 治子) 3月25日 85歳 (弓削)
たけ まさみ (貴田 正美) 3月25日 63歳 (弓削)
よこい 岩雄 (横井 岩雄) 3月30日 85歳 (弓削)

人口の動き 平成28年3月31日現在 () は前月比です。

区分	男	女	合計	世帯数
弓削	1,637 (△21)	1,621 (△13)	3,258 (△34)	1,880 (△12)
生名	741 (△5)	890 (△3)	1,631 (△8)	873 (△2)
岩城	1,154 (△14)	966 (3)	2,120 (△11)	1,144 (0)
魚島	102 (△1)	95 (0)	197 (△1)	127 (0)
合計	3,634 (△41)	3,572 (△13)	7,206 (△54)	4,024 (△10)